

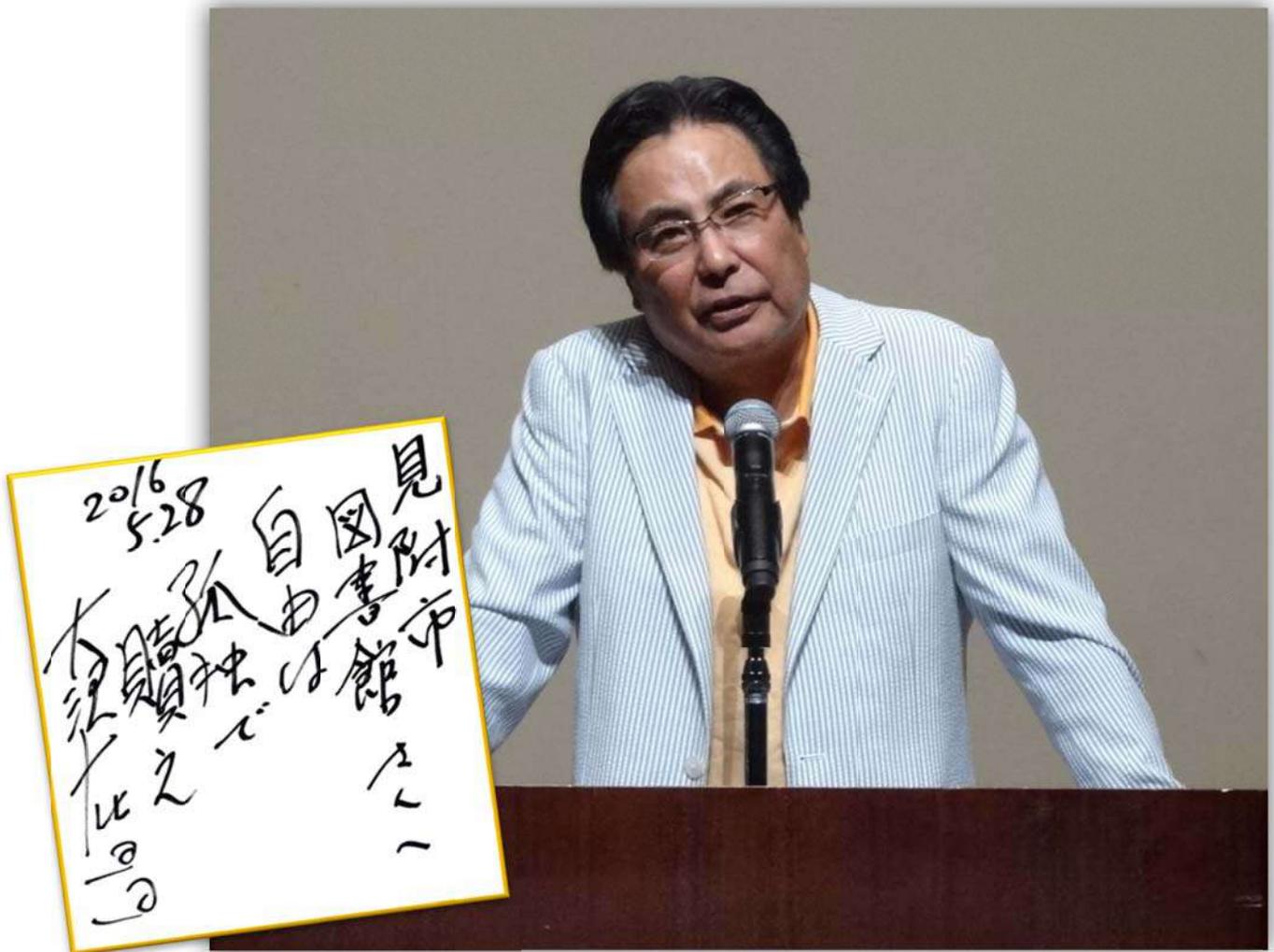
見附市図書館だより

万華鏡 第43号

平成28年7月15日発行

編集発行 見附市図書館 (TEL 0258-62-3759)

指定管理者 NPO法人見附地域情報研究会



大沢在昌さん講演会を開催しました

5月28日(土)アルカディア小ホールにて、直木賞作家・大沢在昌さんをお招きし「ミステリーと私」と題する講演会を開催しました。

200人を超える満席の聴衆は大沢さんに次々と質問し、あっという間の1時間半を過ごしました。

大沢在昌講演会の感想をいただきました

「ミステリーと私」を聞いて

星野 由香

よく晴れた5月28日、今日だけはと夫に子どもを任せ、期待に胸を膨らませ大好きな大沢在昌氏の講演会に向かいました。

会場は、私も含めて大沢氏の登場を今か今かと待ちきれない人でいっぱいでした。

今回のテーマは「ミステリーと私」。新潟県の枝豆が大好きだというお話から始まりました。小説家を志したきっかけや人気作家になるまでを、たくさんのお蔵書に囲まれて育った幼い頃の話や学生時代の経験、デビューしてから苦労話を、聞き心地の良い声で真剣に時に笑いを誘いながらお話されていました。

人気作家になるまでは茨の道を進んでいたけれど、それでも書き続けていたからヒット作が生まれ、私の手元にたくさんのお蔵書があるのだなと思うと、作品の重みがグッと増したように感じました。

お話を聞くうちに、大沢氏といくつかの作品の主人公には通じる部分があり、傷つく事を恐れず意思を貫いている主人公の生き方をより魅力的に思いました。

今回の講演会では、大沢氏が深く感銘を受けた矢沢幸さんの詩を2編朗読してください、詩のあまりの美しさに胸が熱くなりました。

私にとって夢のような講演会でした。大沢氏の作品がよりの好きになり、これからもハードボイルドの世界にどっぷりと浸かろうと固く決意しました。

大沢在昌講演会を聞いて

矢沢幸記念事業実行委員会 K・I

平成8年10月28日の朝日新聞に私の1冊として大沢在昌さんが矢沢幸詩集『光る砂漠』を紹介した。ハードボイルド作家と詩がどう結びついたのか興味を持った。3年前には、NHKラジオ深夜便で大沢さんが矢沢幸の詩を朗読するのを眠い目をこすりながら聞いた。この度その大沢さんの講演会が開かれると聞き、楽しみにしていた。

講演会では最初は詩人になろうとしたこと、矢沢幸詩集を買って読み、全編が不思議な透明感と抒情性に満ち、ことあるごとに読み返していることなどを聞いた。

最後の質問コーナーでは大勢の人が手をあげ、私まで回ってこなかった。強烈なショックを受け背筋が伸びたという幸の詩をもう少し多弁に語ってもらいたかった。

今年、新たな『矢沢幸詩集』を思潮社から出版する予定である。詩集ができたらぜひ大沢さんの本棚の一冊に加えていただきたい。



著作にサインする大沢さん

新刊どっさり!!

夏休みは図書館へ



サッカーが好き!

見附小学校 4年 畠山 タ希
わたしは、毎週サッカースクールで練習しています。本田選手がどんなふうにして世界で活躍する選手になったのかを知りたくて、この本を読みました。次はネイマール選手の本が読みたいです。



夏休みに向けて児童図書の新刊がたくさん入りました。
夏休みはじっくり時間をかけて長編の物語にチャレンジしたい。観察や実験をしたい。身近な材料で素敵なものを作りたい。そんな子どもたちに役立つ本が揃っています。ぜひご利用ください。

☆☆☆ インフォメーション ☆☆☆

☆書庫開放

日時 7月31日(日) 8月28日(日) 9月25日(日)
いずれも午前9時30分～午後4時

図書館2階にある書庫の文学書(一般)31,000冊を一般開放します。その場で貸出も行いますので、ご利用ください。

☆映画鑑賞会上映予定

日時 7月31日(日)「紙の月」

角田光代原作。銀行で契約社員として働く主婦・梅澤梨花と夫の間には空虚感が漂っていた。ある日、大学生・光太と逢瀬を重ねるようになった彼女は、彼のために顧客の預金に手を付けてしまう。出演：宮沢りえ、池松壮亮

8月28日(日)「ビルマの豎琴」

竹山道雄原作。太平洋戦争末期のビルマを舞台に、投降を拒否する日本軍の説得に向かったまま消息を絶ってしまった上等兵の心情を、日本映画界の巨匠、市川崑監督が独自の映像美で描く。出演：三國連太郎、安井昌二

9月25日(日)「女系家族」

山崎豊子原作。大阪船場の織維問屋で、婿養子だった当主が急死。遺産相続をめぐる、残された三人姉妹がやきもきするなか、故人の愛人の存在が発覚する。さらに大番頭や長女の恋人などがからみ、色と欲とで事態はより複雑になっていく。出演：若尾文子、高田美和

いずれも①午前9時30分②午後1時30分からの2回上映で、会場は2階視聴覚室です。入場無料。事前申し込みも不要です。ぜひ、お越しください。

主催 見附シネマ倶楽部 見附市図書館

夏休みスペシャルイベント

いずれも申込は不要です。大人から子どもまでぜひどうぞ。

☆夏休みおはなしの旅

日時 8月9日(火) 午前10時から
会場 2階 視聴覚室
内容 絵本の読み聞かせ

「おはなしの旅」のみなさんが『山のとしょかん』
『木のまつり』などの絵本を読みます。

主催 おはなしの旅 見附市図書館



『山のとしょかん』 肥田 美代子/文、小泉 るみ子/絵 文研出版
『木のまつり』 新美 南吉/作、鈴木 靖将/絵 新樹社

☆とんことり 読み聞かせスペシャル

日時 8月10日(水) 午前10時から
会場 2階 視聴覚室
内容 絵本の読み聞かせ

「とんことり」のみなさんが『おこだでませんように』
『としょかんのよる』などの絵本を読みます。

主催 とんことり 見附市図書館



『おこだでませんように』 くすのき しげのり/作、石井 聖岳/絵 小学館
『としょかんのよる』 カトリーン・シェラー/絵 ほるぷ出版

☆はじまりはじまり 紙芝居

日時 8月23日(火) 午前10時から
会場 2階 視聴覚室
内容 紙芝居の上演

「はじまりはじまり」のみなさんが『ふるやのもり』
『あぶないあそび』などの紙芝居を上演します。

主催 みつけ紙芝居の会「はじまりはじまり」 見附市図書館



☆いないいないばあ 読み聞かせスペシャル

日時 8月24日(水) 午前10時から
会場 2階 視聴覚室
内容 絵本の読み聞かせ

「いないいないばあ」のみなさんが『どろぼうがっこう』
『やまのバス』などの絵本を読みます。

主催 いないないなばあ 見附市図書館



『どろぼうがっこう』 加古 里子/絵と文 偕成社
『やまのバス』 内田 麟太郎/文、村田 エミコ/画 佼成出版社

*図書館休館日 (毎週月曜日・第2金曜日)

7月25日(月)

8月1日(月) 8日(月) 12日(金) 15日(月) 22日(月) 29日(月)

9月5日(月) 9日(金) 12日(月) 26日(月)

*学習コーナーの臨時休館(書庫開放のため、学習コーナーは利用できません)

7月31日(日) 8月28日(日) 9月25日(日)